

標 題 : LETTER TO THE EDITOR [編集者への書簡]  
Mediterranean diet score: correlation with 25-year mortality from  
coronary heart disease in the Seven Countries Study  
地中海風食事スコア :  
7カ国研究における冠状動脈性心疾患による25年間の死亡率との相関

---

著 者 : F. Fidanza, et al. (イタリア ローマ トルヴェルガータ大学 神経科)

---

掲 載 誌 : Nutr. Metab. Cardiovasc. Dis. 14: 397 (2004)

---

[本 文] 編集者殿

本誌(NMCD)2004年10月号に発表した我々の論文「地中海妥当性指標：7カ国研究における冠状動脈性心疾患による25年間の死亡率との相関(1)」で、ギリシャ地中海食事スコア(MDS)を7カ国研究(SCS)の男性における冠状動脈性心疾患(CHD)による25年間の死亡率と比較する目的を、我々は発表した。

これのさらなる解析結果が現在用意できるので、本誌(NMCD)の読者にそれを知らせると役に立つと我々は考える。

7カ国研究の16サンプルコホートの食事データをA. Trichopourouら(2)によって提案された地中海食事スコア(MDS)分割点を用いて分類し、このMDS値を我々の論文ですでに使用した25年間のCHD死亡率と関連づけた。

この解析で得られた相関係数は-0.69であり(Fig. 1)、代わりにMAI(地中海妥当性指標)を使用した我々の論文の解析から得られる係数(-0.84)よりも低かった。MDSはゼロに等しい値を含むので、自然対数に変換できないことに注意すべきである。7カ国研究のコルフとクレタ島からのサンプルコホートの食品接種平均の分割点を用いて同様な相関係数が得られた。

この全てが、CHD死亡発生との関連で複数住民の食事の特徴を確認するのにMAIはさらに能力があると意味する。

さらに我々が、最低MAI(悪いパターン)の8コホートと最高MAI(良いパターン)の8コホートを比較してCHD死亡率の相対リスクを計算すると、2.06の値が得られた。粗雑な定義と限られた範囲のため、MDSを用いるとこの値は達成できなかった。

引用文献 : 2報告

---